

平成 18 年度第 2 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 18 年 7 月 11 日 (火) 14 時 00 分 ~ 17 時 00 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス (アプロースタワー 14 階 1401 会議室)
3. 出席者 (順不同、敬称略)

| | |
|------------------------|-------|
| 京都大学人間環境学研究科・総合人間学部図書館 | 辰野 直子 |
| 神戸大学附属図書館 | 石定 泰典 |
| 大阪府立大学学術情報センター | 赤崎 久美 |
| 和歌山県立医科大学図書館 | 南方 政英 |
| 姫路獨協大学図書館 | 梶浦美千子 |
| 近畿大学中央図書館 | 鹿田 昌司 |
| 同志社大学総合情報センター | 西山 智紗 |
| 京都産業大学図書館 | 近江由紀子 |
| 大阪大学附属図書館 | 杉山 宗武 |
| 関西学院大学図書館 | 中村 順治 |

4. 議 事

第 1 回能力開発専門委員会議事概要について確認が行われた後、議事次第に沿って報告と審議が行われた。

1) 報告事項

杉山主査から以下の 2 点について報告があった。

近畿イニシア英語名と英語略称について

英語名としては、Kinki Regional Academic Libraries Initiative、英語略称は、KIRALI にする案が出され、6 月 27 日までに異論がなければ決定することになっていて、異論は出ていないので、この案で確定したことになる。

近畿イニシアにおける広報の流れについて

運営委員会事務局が作成した原案に修正を加え、「近畿イニシアにおける広報の流れ(第 3 案)」「資料 2」が、ほぼ最終案としてまとまっている。

2) 審議事項

初任者研修日程案について

第 1 案を 11 月 21 日、22 日、第 2 案を 11 月 16 日、17 日として、会場候補の関西大学の都合を聞くことになった。

会場について

関西大学へ会場提供の依頼をすることとした。合わせて、班別討議用の部屋と情報交換会の会場が確保可能かについても問い合わせることとした。もし、関西大学の都合が付かなければ、関西学院大学にお願いすることとした。

プログラム構成、内容について

杉山主査から原案(資料 3)の説明が行われた。昨年度との違いは、講演を 1 つにし 70 分から 80 分に変更したこと、実務研修を 8 コマにし、45 分にしたこと、休憩を可能な限り入れたこと、実務研修で、選書とレファレンスを独立させたこと

とであるとの説明があった。この原案について各委員から出された意見（資料5）の説明があり、また当日出された意見も交えて討議が行われ、その結果、鹿田委員から提示された実務研修6コマの案（各コマ60分とし、質問時間を5分程度含める）をベースとして検討を進めることとなった。

次いで、パネルディスカッションのテーマを、「図書館員とスキルアップ」にしてはどうかとの提案があり検討に入ったが、エルゼビア社が初任者研修に後援金を出すので1コマ分の発表機会が欲しいと提案してきている旨、杉山主査から説明があり、討議の結果、パネルディスカッションを削り、エルゼビア社に一般的な学術情報の動向について、ゲスト講演をしてもらうこととした。

更に、鹿田委員案の研修4「図書館員とスキルアップ」の扱いについて議論が行われ、スキルアップは班別討議のテーマとして、代わりに「図書館からの情報発信」のコマとして、電子図書館、機関リポジトリ、広報、ホームページなどを幅広く取り上げることとした。また、班別討議では、「図書館員としてのスキルアップを図るにはどうするか」というテーマにし、事前に依頼した何人かの研修受講者に問題提起をしてもらう形にすれば発言が出やすいではないかとの意見が出された。

続いて、講師案の検討が行われ、次のとおり依頼することとした。

- ・講演「今、大学図書館職員に求められているものは何か」京大・大埜事務部長
- ・研修1「資料収集業務について」大阪府立大学
- ・研修2「目録・分類業務について」同志社大・中島氏
- ・研修3「閲覧・ILL/レファレンス業務について」関西学院大学
- ・研修4「雑誌業務について（電子ジャーナルを含む）」近畿大・吉富氏
- ・研修5「情報リテラシー教育について」京大・天野氏または綾部氏
- ・研修6「図書館からの情報発信について」広島大・白木氏

また、会場が図書館であることから、図書館見学を含めてはどうかという意見があり、関西大学の都合を聞くことにした。

今後のスケジュールについて

杉山主査から、今月中には、講師を決定し、内諾を得たいとの発言があった。また、9月に開催予定の運営委員会に初任者研修実施案の提案を行い、承認を得る必要があるとの説明があった。

その他

杉山主査から、専門委員会の主旨として、本来は若手の方々を中心に活動を進めてもらいたいということがあり、2年目に入ったことでもあるので、今後の活動は鹿田委員を中心として若手主導でお願いしたいとの提案があり、了承された。

また、先の運営委員会で、私立短期大学協会について、当面運営委員会に委員は出さないものの、研修会の案内は出す必要があるとの説明があった旨、中村委員から報告があった。

以上